

# 『三河川の農業水利システムの展開』

日時

平成29年  
1月28日(土)

13:00~16:50  
(受付 12:30~ 無料)



江戸時代の取水方法「打桶」

場所

久留米市新合川1-1-3 筑後川防災施設「くるめウス」

有明海を河口に持つ筑後川、矢部川、嘉瀬川流域では、地域特性を活かした農業用水確保に努めてきました。今回は、『農業水利システムの展開』をテーマに研究発表を行います。

## 基調講演 「古代農業用水システムの考察」

九州大学大学院 工学研究院 教授 島谷 幸宏

## 研究テーマ

筑後川 「筑後川における農業水利システムの展開」  
独立行政法人水資源機構筑後川局 局長 阿武 隆弘

矢部川 「矢部川における農業水利システムの変遷」  
福岡県農林水産部農山漁村振興課 企画監 阿部 篤

嘉瀬川 「嘉瀬川における農業水利システムの展開」  
佐賀県農林水産部農地整備課 技術監 高田 敏行



「打桶」から「踏車」へ

## パネルディスカッション

コーディネーター 九州大学大学院 農学研究院 教授 凌 祥之



「筑後大堰」

主催、問合せ：筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会  
090-7297-4073 (事務局)

本研究会は、(一社)北部九州河川利用協会の支援を得て実施しています